

開催報告



トキと人の共生を目指した水辺づくり座談会 第5回 天王川利活用ワーキンググループ

開催日：2016年1月21日(木)18:00～19:50

場所：トキ交流会館 2階会議室

参加者：WGメンバー16名、傍聴7名

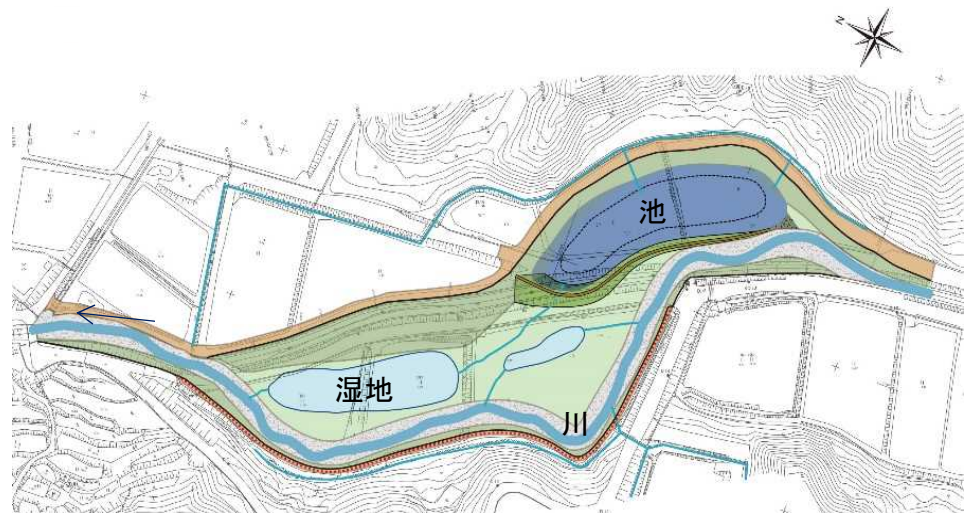
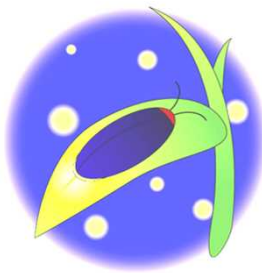
「ホタルに配慮した計画」について意見交換を行いました！

11月30日に開催した第4回ワーキンググループで、「ホタルの生息環境に配慮した計画とすることはできないか？」という意見が出されました。

今回は、「ゲンジボタルの生態」や「学識経験者からの意見」を踏まえた、「ホタルに配慮した計画(案)」を事務局から説明した後、メンバーとの意見交換を行いました。

意見交換会では、「川をもう少し緩やかに蛇行させた方が良いのでは?」、「池と湿地の位置関係は魚類の専門家の意見を聞いた方が良いのでは?」、「加茂湖に土砂が流出しやすくないか?」などの活発な意見が出されました。

今後のWGでは、メンバーの意見を反映した修正案を作成し、さらに議論を進めていくこととなりました。



ホタルに配慮した計画(案)

意見交換会での主なご意見

【川、湿地、池の形状・配置などについて】

- 本来の川の自然な流れを考慮すれば、山側ばかりに流れるのではなく緩やかに蛇行するような形にしたほうが良いのでは。
- 学識経験者の意見でもあったが、川が急に曲がっている部分は山が削られてしまうかもしれないので、もう少しスムーズにつなげた方が良いのでは。

- 原案と修正案でトキの餌場としての価値は大きく違いはないと思う。整備後にトキが来るような順応的な管理を継続していくことが重要だと思う。
- ホタルの観察路を設置する場合、川、湿地、山を分断することのないように、配置や構造などを工夫してもらいたい。
- ドジョウの生活や産卵の場所を考えたときに、池と湿地の位置関係が重要になると聞いたことがある。魚類の専門家に詳しく聞いていただきたい。

【その他の意見】

- 「川を山側に寄せると、生物全般に良い」という学識経験者のご意見はどういう意味？
⇒ 山から川の中まで連続した環境が形成されると生物が移動しやすくなることや、山から水面に覆いかぶさる木から虫が落下し魚のエサになるなど、一般に良好な環境となると言われている。
- 川の位置を変えることで、加茂湖への土砂流出は大丈夫か？
⇒ 加茂湖への土砂流出対策としてつくる池や、川底へ石を敷くなどの考え方は変えずに、川の流れる位置を変えるだけである。川のカーブの外側など部分的に削られそうな場所には、必要に応じ石積みなどを検討していきたい。
- 川沿いの山の管理はどの程度行うのか？
⇒ 天王川の下流でホタルが多く生息しているところの川沿いにも山があるが、木の伐採などの手入れはほとんど行われていない。今回整備するところも、同様に自然の状態にしておくことによりホタルにとって良い環境を保てるのではと考えている。
- 子どもたちと行っている生きもの調査のときに、ゲンジボタルの幼虫を見つけられたら、とても魅力的だと思う。



意見交換会の様子

【次回のWGについて】

- 次回(第6回)のWGでは、メンバーのご意見と専門家のご意見を踏まえた修正案を提示し、意見交換をさせていただきたい。1ヶ月後をめどに開催したい。

天王川利活用ワーキンググループの構成メンバー

- ◆ 地元集落：潟上集落、正明寺集落、田野沢集落
- ◆ 関係団体：佐渡生きもの語り研究所、トキとき応援団、潟上水辺の会、加茂湖漁業協同組合、佐渡島加茂湖水系再生研究所、生椿の自然を守る会
- ◆ 学校関係：伝統文化と環境福祉の専門学校、佐渡市立行谷小学校
- ◆ 行政機関：環境省佐渡自然保護官事務所
- ◇ 事務局：佐渡地域振興局地域整備部、佐渡市役所建設課、佐渡市役所農林水産課

問い合わせ先 新潟県 佐渡地域振興局地域整備部 担当) 計画調整課 水倉、藤澤

TEL : 0259-74-4040 FAX : 0259-74-2048 Email : fujisawa.masamichi@pref.niigata.lg.jp